

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 175号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：宗和 正憲
 〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 F
 TEL 045-228-7331 FAX 045 - 228 - 7331 (TEL 兼用)
<http://www.kanagawa-iguren.com>

2017年6月号

【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポート 2
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 3、4、5
- 産学官交流サロンコーナー／事務局コーナー 6

【 神奈川イグレンご案内 】

<神奈川イグレン年次総会のご案内>

今年度の神奈川イグレン総会を下記の日程にて行いますので奮ってご参加ください。

(当日、11:00～12:00 理事会を開催します)

【日 時】 平成 29 年 6 月 27 日 (火) 13:30～14:30

【会 場】 神奈川県中小企業センター 6F 大研修室 (横浜市中区尾上町 5-80)

- 【議 題】
- ① 平成 28 年度 事業結果報告・同会計決算報告・同監査報告
 - ② 平成 29 年度 事業計画 (案)・同会計予算 (案)
 - ③ 平成 29 年度 役員 (案)

【事例発表】 <タイトル：仮題> 14:45～16:50 (1本 30分)

- ① 地球温暖化の中でゲリラ豪雨対策・防災対策のシステム開発と普及
 ……(株)ユニメーションシステム 代表取締役社長 伊藤幸彦 氏
 - ② ペットボトルリサイクル製品を活用したコンクリート隧道の補強材
 ……日本繊維エンジニアリング 代表 石川 常夫 氏
 - ③ TRiAS 構想と最近の事業展開
 ……(株)TRiAS 代表取締役社長 栗田 篤 氏
 - ④ 天頂衛星を活用した子供たちの通学路安全対策と聞き書きマップづくり
 ……科学警察研究所 犯罪行動科学部長 原田 豊 氏
- * 上記発表者に欠員が出た場合は次の方に発表をお願いすることになっています。
 微生物を活用した屋内での有機野菜作りで地域の活性化の取り組み
 ……テーブルボーンズ 代表 森慎太郎 氏

【参加費】 500 円 (資料代)

【懇親会】 17:10～19:00 会費 2,500 円 伊勢元にて

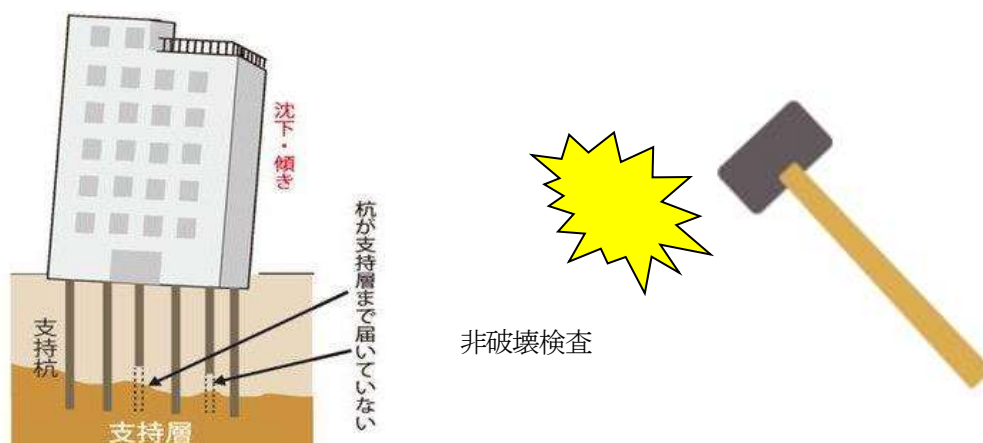
「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)レポートのご案内

イグレン事務局 松井利夫

第51回フォーラムは平成29年5月25日に開催。初めに、大分市から関東地区において「非破壊調査システム」の販売キャンペーンのために来られた(株)テクノコンサルタントの山本年幸氏から製品の説明をして頂きました。

「非破壊調査システム」はコンクリート構造物や基礎杭などに発生したひび割れ、損傷の有無や先端位置等の確認のための調査を行うために開発された技術です。20年前の阪神大震災の際、高速道路倒壊事故がありました。その頃より現在に至るまでの間に1000件の調査実績があります。東北の震災以来、大津波の対策として堤防の嵩上げが各所で進められていますが、当社の装置が活躍しているとのことでした。

ビルを建設する時、岩盤に届くように基礎杭を打ち込みますが、正しく打ち込まれていないと、地震などでビルが倒壊する恐れがあります。このようなトラブルを避けるためには、ビルを建てる時に、設計者、ゼネコン、役所の3者の立会いの上で基礎杭の中間検査を行うのが望ましい訳です。このシステムの原理は、基礎杭をハンマーで叩くことによる波速度と伝播時間より得られる波形を分析して杭の長さを測ります。また、基礎杭の長さを決めるために、通常、敷地面積が300m×200mの場合、100m間隔で3か所ボーリングをして岩盤までの深さを測定しています。しかし、調査個所以外の岩盤までの深さは分からないので岩盤までの深さを推定して基礎杭の長さを決めているため、すべての基礎杭が岩盤にとどまっているか分かりません。測定箇所をもっと多くすべきだという声がありますが、費用が掛かるので実施は難しいです。



次に、伊藤さんから、知人から頼まれた譲渡希望新技術の紹介がありました。内容は「臨場感・快適性・省エネの効果を高めた切り替え可能な画像ディスプレイ」です。一括譲渡希望金額は350万円(税別)です。特徴は、従来の表示体(画像パネル)と異なり多数枚スクロール切り替えできる画像によりTPOに適切に対応でき、また画像表示部のみでも使用可能とのことでした。本職の河川・冠水警報装置については、この度、埼玉県庁で7セットを購入して貰うことが決定したとの報告がありました。

次に、早川さんから、アレルギーなど難病で困っている人を救うために開発された「ハウスダストカット」というオンリーワン製品の紹介があり、広く販売してくれる人を探しているとのこと。この製品は、一般の「空気清浄機」と違い、二階建ての家屋の場合、「ハウスダスト」を家の中央に一台置けば周囲20m以内にあるホコリや化学物質などを、この装置が放出する「電子(マイナス電荷)」が、誘電率がずば抜けて高い水分子に作用して急速な還元効果を発揮するためアレルギーが改善されるとのことでした。

イグレン会員グループ・プロジェクト状況

【第 183 回 日韓ビジネス協議会】

高橋 導徳

1. 日時：2017年6月21日(水) 午後3時30分～5時15分 協議会
午後5時15分～6時15分 交流会 会費：1,000円
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 6階 特別研修室
かながわ異業種交流センター（神奈川県異業種連携協議会）TEL：045-228-7331
3. 次第：
 - 会長挨拶・・・瀧澤 清氏
 - 「膝の人工関節手術の体験とその後」 日韓産業技術協力財団 元部長 初瀬川 茂氏
 - 「東洋経済新聞の紹介」韓国と日本の経済、文化、スポーツ、交流などの記事・・・事務局
 - メイン講師 副会長の成田氏の「韓国の昔話」 韓国の身近な文化の1つとして古くから語り継がれている昔話から代表的な4つを選び、その和訳分の朗読、紹介を通して見え隠れする民族の原型に接しながら韓国の現状に思いを巡らせる機会を持ちます。

7月度は7月26日(水)に8月の施設見学は8月30日(水)を予定しています。

ベンチャーの旗手を悼む。

芝 忠

かつて、横浜ベンチャービジネスクラブを起ち上げ、一世を風靡した柳田一千一さんが6月7日亡くなった。70才。まだお若い。横浜市鶴見区で自らベンチャー企業、日本テクトロンを経営する傍ら、1982年「横浜ベンチャービジネスクラブ」を結成し、日経新聞夕刊に活動を連載・紹介されるなど、マスコミを大いに賑わした。異業種交流とベンチャーブームを巧みにつかみ、毎回の例会は狭いアパートの一室を超満員の参加者で熱気が溢れ、資本金1千万円の投資会社まで作ってしまった。マスコミだけでなく、ベンチャーの情報を取ろうと金融・証券など投資会社から、大手企業の開発部門から東京通産局の担当者など多彩な人たちが楽しい情報交換の場であった。とにかくいつも夢を語るひとであった。中小企業のネットづくりや、経営戦略など、いつも計画プラン図を持ち歩いて説明された。情熱のひとである。

神奈川県異業種グループ連絡会議(異グ連)結成の代表的人物の一人だった。イグレン30周年誌で取材した宮川豊事務局長(イグレン理事)は、当時「圧倒的存在感」と評し、「ベンチャービジネスなどと言われても所詮中小企業、ヒト、モノ、カネのどれをとっても大企業にかなわない。でも一人が持っている技術や情報を出し合えば大きな力になる」として結成したと伝えている。

筆者はイグレン機関誌に「異魚種交流の発展史」を紹介しつつありますが、いずれ「横ベン」にもふれる予定です。 合掌

かながわイグレン 理論機関誌第5号発行しました。

6月1日付で理論機関誌第5号を発行しました。第5号はたいへん幅広く、全く異なった分野の活動状況をそれぞれの立場で執筆しています。

目次

- 1 地球温暖化による極端気象に対応した水災害警報システム
- 2 重心位置測定器を開発して「特許をとれたぞ！」
- 3 わが国の異業種交流活動の発展史 その1
- 4 身近な環境と健康 1
- 5 国際協力機構（JICA）本邦研修報告 4

以下概要です。

株式会社ユニメーションシステム 伊藤社長から「水災害警報システム」の開発経過と今後の展開についての報告です。「水災害警報システム」は、ゲリラ豪雨の際、道路のアンダーパスに設置され、冠水警報装置として、また、地下空間やビル浸水被害の軽減に役立ちます。第21回「震災対策技術展」横浜に展示し、市町村の災害対策の担当の方々の注目を集めました。（機関誌第5号の表紙は展示会場の写真です）

「はかり」にこだわり50年の株式会社メジャーテックツルミの横須賀会長からは「重心位置計測装置」の特許取得の経過についての報告です。水力や火力発電所では発電機を回転させ電気になっています。発電機にはタービン（羽根車）が使用され、毎分3000回転以上の高速で回転しています。発電機が効率よく発電するためには、多数のブレードが組み込んだタービンをバランスよく回転させ安全に回転させることが必要です。2台のはかりを使用した重心位置計測装置は、タービンの重心測定を精度よく測定するシステムです。被計測全体を固定治具でしっかり支持し、固定測計量器と移動側計量器を固定治具を介して精度の高い測定ができる方法を開発し、特許を取得しました。これを使用した製品は「川崎市ものづくりブランド」として認証されました。横須賀会長は、これらの開発過程での気持ちを俳句や詩にして表しています。

今回より、2つの連載が始まりました。

日本の異業種交流活動に最初から関わっている芝専務理事が「わが国の異業種交流活動の発展史」を連載開始しました。第1回は、オイルショック後の異業種交流、大阪の異業種交流、全国各地の動きから異業種交流の必要性や各種の事業活動について歴史的解説を加えています。

「身近な環境と健康」の研究をライフワークとする有限会社HTB代表取締役の早川成昭会員が「環境と健康」をテーマに連載で報告します。第1回は、古代から積み上げられた環境問題、近代社会が抱える大気事情、環境汚染によりイオンバランスが逆転、複合汚染の主な原因などについて多くの資料を用いて解説します。ご期待ください。

次号第6号は2018年1月発行です。皆様のご投稿を歓迎します。

（締め切り 2017年12月5日）

編集担当 加藤文男

＜かながわイグレン報告＞

「中小企業・小規模企業の振興に関する要望書（案）」を作成し金究議長名にて神奈川県知事 黒岩氏宛に提出予定。

1、「中小企業・小規模企業交流活動事業」への支援（概略）

一昨年30周年を迎えたイグレンの活動の報告・・・① 大企業経営者OB・経験豊富な中小企業経営者と若手経営層との経験交流活動。② 幅広い分野の人士からプロとしての経験と哲学を学ぶ情報交流活動。③ プラスチック等の基盤技術分野の業界の将来展望を追及する研究活動。④ 環境・エネルギー等21世紀型の新技術開発を目指す研究会活動。⑤ 6次産業化の一環として他分野への活用が期待される田圃センサー開発の活動。⑥ 海外でのビジネス機会の開発を進めているビジネス交流会等、多くの中小企業・小規模企業者や大学人・研究者の参加による異業種活動が活発に展開。

これらは「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進条例」の基本理念に明示されている様に中小企業・小規模企業は地域の雇用、産業創出という経済活性化の担い手である事からの支援。その他、県内交流・連携グループ活動の実態調査への支援。異業種交流・連携活動への支援。航空宇宙産業振興の為の支援。

2、産業政策の広域的・総合的展開の推進

県内のものづくりを支えている中小企業への技術支援体制の現状は中部圏、関西圏の技術集積地域と比較した場合、弱い。今後、広域的な役割を果たしていくために政令三市に協働・連携を働きかけてもらいたい。（地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所のバックアップ）

3、要望内容及び中小企業・小規模企業支援に関する意見交換会の開催



ゲリラ豪雨



	尾上町サロン	西湘サロン 第 69 回	海老名サロン 第 40 回	三浦半島経済人サロン 第 77 回
日程	7 月 07 日 (金) 18:00~20:30	07 月 04 日 (火) 18:00~20:00 開場は 17:30~	6 月 23 日 (金) 15:00~	7 月 27 日 (木) 18:00~ 開場は 17:30~
場所	神奈川中小企業センター 703 イグレン事務局	おだわら市民交流センター-UMECO 小田原市栄町一丁目 1 番 27 号	神奈川中小企業センター 6 階特別研修室 (サロン開催場所変更)	神奈川新聞社 横須賀 支社 5 階会議室 横須賀市小川町 21-9
連絡先	イグレン (芝)	イグレン (吉池)	愛 賢司	堀込、芝、鶴野、西澤
内 容	参加費: 1,000 円	「九転十起の会」設立 「ヤオマサ」名誉会長・(株) 報徳農場 代表取締役 田嶋 享氏 参加費: 1,000 円	「磨く楽しみ」 まんてんプロジェクト と航空産業への取り組み への紹介、その他 会費: 2,000 円	「いまどきの相続事情- 遺言書から民事信託 (家 族信託) へ」 全国相続協会相続支援 センター横浜支部長 青木 信三 氏 参加費: 1,000 円

私事で恐縮なのですが「本物に触れる」という観点から、この所かぼちゃの作品で有名な草間彌生さんの展覧会に行ったり、アールヌーヴォーを代表とするグラフィックデザイナーのミュシャ展に行ったりして自分の感性を磨いています。現代アートから過去の巨匠と呼ばれる人達の作品まで色々な作品を見るととても刺激になります。作品を見てみると人間には無限の可能性があり彼らの息遣いやその思いが作品を通して聞こえてくる。そんな気がします。なかなかミュシャの作品に触れることは出来ませんが草間彌生さんの作品は銀座の新名所となった「GINZA SIX」の吹抜にバルーンという形で現在展示されています。雨季のこの季節、雨に濡れず現代アートに触れ、美味しいものを食べたりウインドウショッピングをしたりと観光がてら感性を磨くのも悪くないと思います。今後の日本の未来に必要なもの、それは単なる技術だけではありません。私達一人一人が生み出す豊かな感性、これを相手にどう伝えるかという力の様な気がします。殺伐とした現代社会において、いつもの自分の観点からではなく別の視点から物事を見てみる。こういう適応能力が今後ますます大切になってくるのではなからうかと個人的には思います。皆様いかがでしょうか？

「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました・・・など原稿を募集中です。



伺える範囲であれば取材にも参ります。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、 Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masa247307-sowa@dream.bbexcite.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)

【月】 ①②③宮川 豊④⑤荒 直孝【火】 ①②④⑤児玉 英二③愛賢司 【水】 ①菊地②指方③加藤④愛⑤芝

【木】 ①②③④⑤ 松井 利夫【金】 ①愛賢司②指方 順一郎③④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7 階インキュベーションルーム 703 号

神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com